KURE KOSEN



National Institute of Technology (KOSEN), Kure College

呉高専だより



呉高専と保護者をつなぐ情報紙



●校長あいさつ	
高専を卒業したということ	 3
●役職員あいさつ	
未来へ (後援会会長 藤元 賢二)	
心霊を科学する (副校長 黒木 太司)	
本年度を振り返って (教務主事 中迫 正一)	
学生主事退任にあたって (学生主事 西坂 強)	
3年目の総括 (寮務主事 松野 一成)	
専攻科長就任にあたって (専攻科長 間瀬 実郎)	
●卒業生・修了生へ	
機械工学科 卒業おめでとうございます < 担任 > 山田 祐士	6
電気情報工学科 卒業に寄せて く 担任 > 板東 能生	
環境都市工学科 ご卒業おめでとうございます	
< 担任 > 三村 陽一 建築学科	,
危機を機会に。 Take the opportunity of crisis! <担任>安 箱敏	
専攻科 専攻科修了生のみなさんへ <専攻科長補 > 大和 義昭	8
●進路速報(2022 年 1 月末現在)	<u>c</u>
●部活動の成果、受賞実績	1

Campus Life















高専祭(10月)



校長あいさつ



高専を卒業したということ

校長 篠﨑 賢二

2021年度の文部科学省の学校基本調査によれば、高等教育機関への進学率は83.8%であり、その内訳は、大学:54.9%、専門学校:24.0%、短大:4.0%、高専4年:0.9%となっています。今や18歳の半数以上が大学に進学する時代において、高専への進学者は、高等教育機関の中で、圧倒的にマイナーな存在です。このため残念ながら未だに高専は関係者以外あまり知られていません。恥ずかしいですが、私も大学教員時代、研究室に来た高専卒業生から、高専生は優秀だなということは認識していましたが、呉高専に来るまでは、高専の実態を知りませんでした。高専は、中学校卒業したての若者に早期から長期にわたって専門教育を行う世界にはない我が国独特の教育機関です。皆さんは、志を持ってこのような数少ない高専を目指して入学してこられたはずですが、おそらく、予想以上に難しい授業で苦戦し、こんなはずではなかったと思った学生諸君もいたと思います。このような学校を無事、卒業することになったのですから、本当に誇れることだと思います。卒業・修了、おめでとうございます。皆さんはこれから同級生に先んじて社会に出て働き始める人もいれば、大学、大学院へ進む人もいます。ただ、皆さんは、どこへ進んでもちゃんとやっていける高専教育を受けていますので、高専を卒業したことを誇りに思えるよう、皆さんが受けた高専教育について改めて、振り返ってみようと思います。

現在、国立高専は51校、私立・公立高専は6校で、合わせて57校あります。在校生は全体で約57,000 名です。また、2023年度4月に私立の「神山まるごと高等専門学校(仮称)」が設立される予定です。

さて、高専は、1962年に19校が設立され、その後1974年までに65校まで増え、2009年に一部国立高 専が統合され、現在の57校になりました。設立当初から、今年で60周年を迎えます。なぜ高専が設立 されたのかといえば、第二次世界大戦後、戦前の3年制の工業専門学校を新制国立大学工学部に昇格さ せたのですが、専門教育の期間が2~2.5年となったため産業界から専門教育の不足、専門教育と一般教 育との連携の欠如が問題となり、学力低下が指摘され、大卒とは異なる「中級技術者」の必要性が求め られ、これに応えたものでした。高専創設当時の大学進学率は10%程度でしたので、現在の進学率とは 大きく異なりますが、当初は、志願者は10倍以上だったそうで、優秀な学生が高専に集まっていまし た。

高専では早期・長期の専門教育を行っており、高校、大学を合わせた7年間の教育を5年間で行っています。そのため、普通科高校の卒業要件は、一般科目のみ>74単位、大学工学部では一般科目>46単位、専門科目>78単位に対し、高専(本科)では、一般科目>75単位、専門科目>82単位となっています。高校と大学を合わせた一般科目の卒業要件は、>120単位であり高専と比べると、高専の方が少ないですが、大学工学部の専門科目の卒業要件は、むしろ高専の方が多くなっています。特に高専では実験・実習の単位数は大学よりはるかに多いです。工学教育において、実際に自身でモノをさわり試行錯誤する実験・実習さらに研究は極めて重要であり、高専教育の極めて良い点と考えています。もちろん、高専教育の問題点も色々指摘されていますが、高専には充実した専門教育に加え、各種工学的コンテストにより自らの知識、技量、技術を磨き、それを客観的に評価する仕組みがあります。受験勉強に力を注がなければならない高校生、実質2年間で専門科目を勉強しなければならない大学生では、なかなかこのようなコンテストを経験することはできません。以上のように、皆さんは通常の大学生では経験できない教育を受けてきており、知らず知らずのうちにそれは皆さんの力になっていると確信します。

高専ができて60年の間に世界は大きく変貌し、グローバル化しました。天然資源がない我が国において、国力を維持するには、「モノ」を作り、それを海外に輸出するしかありません。現在、我が国では製造業がGDPおよび就労人口の約20%を占めていますが、今後、少子高齢化が進み、労働者人口が減ると、生産力が低下します。そのためには、デジタル化、IoTやAIの活用、さらにはロボットを駆使した革新的なものづくり技術は必須です。また、国民の生命、財産を脅かす自然災害への対処には、防災技術を駆使した国土の強靱化が不可欠ですし、災害に強い構造物も作っていかなければなりません。加えて2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指しエネルギー変換が行われ、これから社会のしくみが大きく転換するはずです。このような社会的背景の中で、優れた技術者教育を受けた高専卒業生の社会的ニーズは昔以上に高くなっています。呉高専卒業生としての自信と誇りをもって、社会に貢献されることを期待しています。

役職員あいさつ



未来へ

後援会会長 藤元 賢二

本科卒業生、専攻科修了生の皆さんご卒業・ご修了おめでとうございます。振り返ると、約2年前から、新型コロナ感染・拡大の影響で、過去にない選択を迫られ、皆さんは大変なご苦労が多くあったと思います。その中で、オンラインの授業配信体制を構築でき、勉学に専念出来たのは、高専の強みと言えるでしょう。また、大イベントである高専祭を中止することなく、無事開催出来たことも新しい生活様式に対応した成果であったと思います。今年度の後援会の支援活動について、中止の行事もありましたが、「体育祭のドリンク支援」、「高専祭模擬店出店」等、行ってきました。支援活動が実施できたのも保護者の皆様が平素より活動にご理解とご協力を頂いたおかげであり、感謝致します。

話は変わりますが、皆さんは「3C」という言葉をご存じですか(3Cとは環境都市工学科3年生ではありません)。3CはChance(好機)・Change(変革)・Challenge(挑戦)を表し、皆さんが今後、よく目・耳にする言葉と思います。やるべき事を「後回し」にすることや、「あの時やっておけば良かった」と思う時にはChanceを掴むことは出来ません。大きなChanceを掴む為には、普段からの訓練が大切です。訓練とは「気付いたらすぐ行う」「日頃から自分の考えを持つ」等、行動力と決断力を養うことが必要です。Changeは、様々な経験を沢山し自分を良い方向に変えていく必要があります。Challengeは、失敗を恐れずに自分から進んで挑戦することで、その経験が今後皆さん自身を成長させます。このように、今後皆さんの人生の中で「言葉」が人を成長させてくれることがあります。好きな言葉を見つけることで、皆さんの人生の支えの一つとなればと思います。

最後になりますが、皆さんには明るい未来が待っています。本校で培ったことをそれぞれの進路に活かして羽ばたいて下さい。



心霊を科学する

副校長 黒木 太司

「黒木君、念写の会に入りたまえ」。早朝から深々と雪が降り始めた38年前の仙台、徹夜で研究室にこもり、修士論文を作成していた私の肩越しから古老の紳士が語りかけて来た。念写とは俗にいう心霊写真のことで、斯く非科学的と思しきお誘いへは丁重にお断りしたが、どうしてもこのことが気になり、後にこの紳士の素性を先輩に伺ったところ、「若くして大学を飛び出し単身渡米、MIT(マサチューセッツ工科大学)で教授になられ、現在引退して仙台に戻られた方だ」とのこと。

この一瞥から20年を経た春、ワシントンDC近郊のアーリントンで開催された国際レーダ会議に招待されました。会議後には米国RaytheonのEli Brookner氏らと国防技術の話題で盛り上りましたが、その談笑の中でかの紳士が太平洋終戦直後、破天荒にも自らの活躍の場を米国に求めた理由がやっと理解出来ました。旧ソ連とのベトナム戦争下、DARPA(国防高等研究計画局)では、米国とベトナムを結んだ生々しい動物実験を通して、テレパシーの研究をしていたのです。既にかの紳士は将来の研究ゴールを、当時の日本ではとても認められなかった「超常現象研究」による、究極の無線通信方式ともいうべきテレパシーと定めていたのだろうと思います。

若いころから壁に突き当たると「工学のゴールとは何か?」を哲学的に自問自答して来ました。結論として究極のゴールは「お客様の笑顔」であると考えています。私にとってのお客様とは、学校では学生や保護者の方、研究では地域の皆さん、会社を経営していた頃は開発製品をご購入頂いた顧客の方々になろうかと。

皆さんもかの紳士の如く希望に向かって多角的観点からゴールを定めては如何でしょうか。皆さんにとっての「お客様」が明確になる時、きっと皆さんに変化が生まれ、生きがいある充実した生活ができるはず。

役職員あいさつ



本年度を振り返って

教務主事 中迫 正一

本年度より教務主事に就任いたしました。これまで機械工学分野代表、専攻科長として学校運営に携わってきましたので、その経験を生かし、微力ながら本校のさらなる発展に努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、5月中旬より約1ヶ月、9月下旬に1週間、1月に約3週間の完全オンライン授業を実施し、年度当初の行事日程を大幅に変更することとなりました。授業以外においても、昨年に引き続き海外修学旅行は実施することができず、校外実習も一部オンラインで開催されるなど、通常の学生生活を送ることが困難な状況が続いています。

本校では、学生の皆さんの進級・卒業に向けて、 コロナ禍においても学びを止めることなく教育活動を進めて参りますので、引き続きご協力をお願いいたします。



学生主事退任にあたって

学生主事 西坂 強

平成27年(2015年)4月に学生主事を就任し、 令和4年(2022年)3月末で任期(4期7年)を終 えることになりました。これまでお力添え頂いた 多くの教職員の方々そして学生達と保護者の皆様 には心からお礼申し上げます。

年間主な学生行事として、体育祭、高専大会、高専祭、ステキャン、球技大会、駅伝大会等年の心に学生会の会長や各委員長達と協力し、毎年、理系エリート校らしく取り組めるよう運営を心がけてまいりました。また、学生指導として明るの元気な校風が活性化するように、日常での挨拶の励行、整った身なりを学生自ら出来るよう取り組んできました。就任初年度(平成27年度)の重い処分件数は70件強でしたが、ここ数年は10件前後となり、学生達に自ら正しい生活への意識付けが定着しつつあると理解し、感謝しています。

最後に、今後も理系エリートの呉高専生らしく、 文武両道で高専日本一を継続して達成できる校風 になることに期待し、退任のご挨拶とさせて頂き ます。



3年目の総括

寮務主事 松野 一成

寮務主事としての3年目の終わりを迎えております。1年目の終わりからは寮運営の大半がコロナ対策でした。丸2年間にわたっておりますが活に収束の糸口さえみえないのが現状です。通学をお願いしている30名ほどの寮生には、一時のとお願いしながら2年間も通学していただくこ時的とは、対に感謝を申し上げるとともに、大変申し訳なく、お詫びする次第です。とりわける終学年の一時通学生には、寮生として卒業していただくことがかなわなかったことを深くお詫びしたいと思っております。

2022年度、4年目の寮務主事の任期中には、一時通学生には寮での生活を再開していただく、寮祭をはじめとした寮の行事を実施する、なにより二人部屋での寮運営を再開する等、コロナ前の状態に戻すことに尽力したいと考えております。新型コロナウィルスは変異を繰り返し、まだまだ私たちの脅威になると思われます。しかしながらできる限りの対策をし、寮をもとの状態に戻したいきる限りの対策をし、寮をもとの状態に戻したいきる限りの対策をし、寮をもとの状態に戻したいきる関いいたします。



専攻科長就任にあたって

専攻科長 間瀬 実郎

今年度から専攻科長に就任しました。どうぞよろし くお願いいたします。

2021年も新型コロナの影響は全国的に続き、専攻科の授業、研究においては専攻科1年生の長期インターンシップや、専攻科2年の特別研究等に影響が出ました。

長期インターンシップは、感染予防を考慮し実施期間を5月~9月に広げました。また複数の受入れ先や、応用研究の併用など柔軟な対応をとりました。その結果およそ8割の学生が、インターンシップを実施でき、実社会での貴重な経験をすることができました。

また新型コロナの影響は、令和4年度の専攻科入試にも及び、学力選抜入試は2度も延期し、最終的に9月中旬に実施することになりました。このような困難な状況にありましたが、令和4年度は定員を2割近く超える47名の新入学生が入学することになり、さらに活気が増すと期待しております。

一方、今年度修了する学生は、就職が21名、進学 (大学院)が6名で、進路も例年どおり安定しておりま す。呉高専専攻科がより魅力のある教育・研究機関と なるよう、尽力していく所存です。

機械工学科



卒業おめでとうございます

機械工学科5年担任 山田 祐十

機械工学科5年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。長かった高専生活を終えて、新たな門出を迎えるみなさんに、心よりお祝い申し上げます。みなさんとは4年次から2年間、担任として主に就職や進学のサポートをさせて頂きました。コロナ禍での就活や進学に戸惑いながらも、みなさんは次々に希望する就職先・進学先への内定・進学を決めていき、最終的には全員の進路が定まり、私も大変うれしく安堵しています。

みなさんが4年生となった4月は、新型コロナを心配しながらの登校を始めて1週間で学校は臨時休校となりその後3週間も自宅待機となる大変なスタートであったと記憶しています。5月からオンライン授業、6月には一部が対面授業で行われるなど徐々に平常に戻りインターンシップ申込などの就活も可能となってきたと思ったのですが、7月には東京などで再び新型コロナの感染拡大が起こったため、学校からの自粛のお願いや企業側からの中止の連絡がありインターンシップに参加できない人が多く出て大変混乱しました。この時、通常の5日間のインターンシップにこだわらず、オンライン形式や1DAYのインターンシップに参加するなどの就活を手広く継続できれば良かったのですが、その後も感染の急拡大を繰り返しその都度移動制限や登校禁止になり就活の制限を受けることはあまり想像ができず方向転換も難しかったと思います。

年度末になり本格的に就活の始まるころは、大企業の本社が多い東京などでは正月明けから長期間の緊急事態宣言が発令されており、意中の企業さんからの求人が学校に来ないなど、大慌てすることもありました。連絡をするとすぐに求人をして頂ける企業もありましたがGWごろの決算発表までわからないなど求人開始時期の遅れる企業が多く、その一方でGW明けには本校でも登校が規制されてしまうなど、例年通りの就職活動ができる期間は大変短いものとなってしまいました。その影響もあり6月下旬にみなさんが学校へ登校できるようになった時点ではクラスの半数しか進路が決まってない厳しい状況でしたが、学校が再開されると皆さんが個々に所属する卒業研究の先生の指導等で徐々に進路が決まって行き、無事に全員の進路が決まった時には本当に安心しました。最後にコロナ禍での困難を無事乗り越えて卒業されて行かれるみなさんの今後の活躍を心よりお祈りいたします。

電気情報工学科



卒業に寄せて

電気情報工学科5年担任 板東 能生

電気情報工学科の皆様、卒業おめでとうございます。この学年は2.5年間の担任という特殊な関わりでしたが、みんな無事に進路も決まりほっとしています。

3年生のとき、「4、5年の担任は絶対にない」と言っていたのに、4年の後期から再び担任をやることになり、「えー、また板東?」と思った方も居たと思います。5年間の高専生活の半分を担任として付き合うことになってしまいましたが、まあ運が悪かったと思ってください。コロナによる遠隔授業等大変なことも多かったと思いますが、そ

れなりにソツなくこなしていたようにも思います。

今年の5年生は進学希望者が多かったため、就職して直接社会に出る人は少ないですが、自分の進路は自分の希望を叶えてくれそうですか?希望の進路を掴んだ人も、自分の夢を叶えるための1ステップをクリアしただけです。希望通りでなかった人も、これで終わりではありません。次のステップに向かって挑戦を続けましょう。卒業で「勉強から逃げ切った」と思っている人もいるかも知れませんが、まだまだこれからの人生の方が長いですので、このまま「逃げ切れる」とは思わないように。この2年程で世の中が大きく変わりました。今後も周りの環境は変化し続けると予想されます。社会の変化に取り残されないように、移り変わりの中で自分を見失うことのないように、これからも研鑽を続けていって欲しいと思います。

また、卒業に当たって、「高専出身者は約1%のマイノリティである」ことを心に留めておいて欲しいと思います。世の中の大多数の人は「高専」に対して多くの情報を持っていません。これからは自分のことを周囲にわかってもらえるようにアピールしていく必要があるでしょう。これまで「高専」を内側から見てきて「良いところ、悪いところ」はたくさん知っていると思います。これからは外側からの視点を持つことで、高専出身者の良いところをさらに伸ばしながら、悪いところを補っていけるように心がけて欲しいと思います。

心がけて欲しいと思います。 最後に、このクラスの学生は妙に自己評価が低いようです。みんな結構"優秀"なのですが、自分の"優秀さ"に気付いていないようにも思います。自分に厳しいのは良いことですが、正当な評価も大切です。 もう少しだけ"自信"を持って、次のステージへ進みましょう。

環境都市工学科



ご卒業おめでとうございます

環境都市工学科5年担任 三村 陽一

環境都市工学科第5学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

昨年度と今年度の2年間を担任として皆さんとご一緒させていただきましたが、コロナ禍によるオンライン授業の期間が結構ありました。登校しない期間があったことや、学校行事などを皆さんがテキパキしてくれたので、低学年の時のような関わり方は少なかったように思います。担任としての私の一番の仕事は、進路選択のサポートや面接の練習でした。就職・進学で必要になる書類をどう書くか、面接で聞かれる質問にどう答えるかといったことを一生懸命考

えている人が多かったですが、私は常々これまでの高専生活をしっかり振り返って整理し、自分で自分を理解するように伝えてきました。

高専では、日々の授業や実習、定期試験や数々のレポート、クラブ活動、学校行事や卒業研究など、色々なことを経験したと思います。これらを通じて何を学んだでしょうか?何をできるようになったでしょうか?何が変わったでしょうか?変わらないことは何でしょうか?一番の思い出は何でしょうか?入学時の自分と今の自分を比べてみてください。

高専でやるべきことをやり遂げて無事に卒業を迎えられたのは、皆さん自身の努力もありますが、同級生や先輩・後輩、教職員、ご家族の方々など、周囲の人たちの支えがあったからこそ頑張れたのではないでしょうか。4、5年生のときは、進路決定のために大いに頑張っている姿をよく目にしました。卒業を迎えられた今、進路を決定したことはもうさほど重要ではありません。高専を卒業することは、長い人生の中では一つの通過点でしかなくゴールではありません。これから大切なことは、自身で決めた進路先でどれだけ頑張れるかです。今後、何をどう頑張るかは人それぞれですが、やったことやらなかったことは巡り巡って自分に返ってきます。今後、高専のとき以上に嬉しいことや楽しいことがたくさんあると思います。また、つらいことや苦しいこともたくさんあるでしょう。すべてのことを一人で抱えるのではなく、喜びを分かち合えたりつらいことを相談できたりするような、心から信頼できる人を作って欲しいと思います。一方で、周りから信頼され、誰かにとって大切な人に君たち自身がなってほしいと思います。

卒業生としての皆さんのご活躍を見たり聞いたりするのが今から楽しみですが、何よりも皆さんが幸せで豊かな日々を過ごされることを心から祈っています。

建築学科



危機を機会に。Take the opportunity of crisis!

建築学科5年担任 安 箱敏

新型コロナウイルスの流行から2年。中東での政治問題が深刻化していき韓国との関係は益々悪化していく最中にあった、ちょうどその時期からだったことをはっきりと覚えています。いきなり外出ができなくなった時です。海外での研究調査や留学の全てが先送りになり、春休み中に予定していた外出全ての取り消しなど、書類の修正や再提出に追われる毎日の後に新学期が訪れました。

4年担任としての「再会」。制服姿から私服姿に変わり、(今は当然な)マスク姿で顔半分を隠して区分のつかない皆さんとは「再会」といえない状況でした。はじめまして。リセットです。1週間が経とうとするやいなや学校は

体校、しばらくしたら遠隔授業が始まり、今回は今までのノーマルに再び修正を加えないといけなくなりました。先ずは顔の見えない45名の相手と面談をし、より少なくなった情報を頼りに皆さんとの疎通を図りました。目紛しく変わる毎日のルールについていくことが精一杯で、皆さんは募っていく不安をぶつけることもできなかったし、それは先生たちも一緒でしたね。

今までのノーマルをもう一度考える機会。外見や成績など、見た目や印象といった表面的な価値基準が狂ってしまったとのことです。それを証明でもするかのように、皆さんの成績(正確には順位ですが)がひっくり返されたことは皆さんも覚えているでしょう。ちょうどニューノーマルという言葉が流行り始めた頃でもありますが、今までの常識がリセットされ教科書どおりの勉強法やマナーが通じなくなるところもありました。影で独りコツコツ頑張る人たちにも光が当たるようになったとも感じました。

コロナ禍がもたらした想定外のもの。引きこもることを礼賛するわけではありません。表層の関係から伝わる情報が少ないだけにそれぞれの内面に集中しやすくなったとのことです。他人への配慮深い行為や基本的なマナーを静かだがしっかりと守ってきた人が目立つようになった気もするわけです。他人との競い合いで差をつけてきた今までの世界が虚しくも感じるほどでした。マスクで顔を隠し家に閉じ籠もることになった代わりに、今までは見えていなかった奥底に潜む人間性というものが浮き彫りになり、世はより透明に見えるようになったともいえるものでしょうか。

2年間の付き合い。対面できた時期はそう長くなかったが、コロナ禍の皆さんとの付き合いは一層厚く特別なものだったように感じます。 人生の節目に遭った今の危機は、煩わしいもので戸惑ったりすることもあったと思います。それでも自分と向き合い世を見る客観的な目を 養える良い機会を得たことはある種幸運ともいえるものです。危機をむしろ機会に変えこれからも巧みよく生きる力を育んでいくことを 願っています。変えるのではなく生かすことですかね。生きていくこととは。

「**どんなマイナスもプラスにできる**」みたいです。以前と全く同じように戻ることはできませんが、今を生きるだけで十分にプラス。**2**年間に培ってきた生きる力を信じてこれからも歩み続けましょう。今までと変わることなくいつも素直で自由に羽ばたいていってください。お元気で。いつかまたどこかでお会いできる日を楽しみにしています。

専攻科



専攻科修了生のみなさんへ

専攻科長補 大和 義昭

令和3年度呉高専プロジェクト工学専攻修了生の皆さん、修了おめでとうございます。皆さんは本科からを合わせると7年間の長い期間本校で学んでこられました。修了後の進路は就職や進学で様々ですが、新たな門出の日を迎えられたことは、私たち教職員にとっても嬉しいことです。ご家族の皆さまにも心よりお慶び申し上げます。

さて、専攻科の2年間を振り返ってみていかがですか?皆さんにとっては新型コロナウイルスに翻弄された2年間だったのではないでしょうか。2年前の皆さんの本科卒業式はコロナ

福で中止に追い込まれました。入学式は何とか挙行できましたが、1年生の長期インターンシップは多くの学生が希望実習先に行けなかったりオンライン実施になってしまったりしました。コロナ禍は多くの人に触発される絶好の場となる国内外の学会参加も大きく制限しました。普段の授業も準備半ばのまま突入したオンライン授業で四苦八苦したでしょうし、学内外での調査や実験を縮小・断念せざるを得ないこともあったと思います。この2年間は皆さんが思い描いていたものとは違ったかもしれません。しかし、そんな状況下であっても学習・研究を続け学位授与のハードルを超えた皆さんには、難局を打開する強い力が芽生えたのではないかと思います。

世界中を2年以上揺るがすコロナ禍は私達や社会の不安な面をあらためてあぶり出しました。コロナ禍への対応により称賛された人とか国とかがいる一方で非難された人とか国とかもいて、しかしその評価も立場によって異なり、時間の経過とともに逆転したり…あちこちで軋轢が生じ、当たり前と思っていたことが覆され、そのために未来が見通せず時々なんとも重苦しい気持ちになるという人は結構いるのではないでしょうか。

私の個人的なことですが、過去の人たちが難局に際して如何に立ち向かったかに思いを巡らすことが増えました。例えば明治維新や終戦直後などこれまでに何度も難局はあり、その都度当時の人達は大きな不安を感じたと思います。でも、いま今日の世があるのは、それぞれの人が社会での各々の持ち場で打開のために奮闘したからだと思います。

私も色々と不安ですが、私の持ち場でできることに奮闘したいと思います。もしよければ、皆さんも一緒に どうですか?祝辞のはずが私の決意表明と勧誘になってしまいましたね。それではまたいつか。





←詳細はこちら

呉高専ではホームページで校内外の行事や授業 風景、寮の様子、クラブ活動など日々の学生生 活を「呉高専日誌」で紹介しています。

呉高専ホームページ https://www.kure.nct.ac.jp/

進路速報 (2022年1月末現在) ------

■本科卒業生 就職予定先一覧

就 職 先	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
中役所			0	
公島市役所			0	
国土交通省中国地方整備局 			0	
耳上保安大学校		0		
FEシビル(株)				0
(DDIエンジニアリング(株)		0		
大阪ガス(株)			0	0
毘島クレス(株)				0
株)HIVEC	0			
株)NTTファシリティーズ				0
株)アスパーク	0			
		0		
株)アルテクス		0		
株)アルモ設計				0
株)大林組				0
株)岡山村田製作所	0			
株)キャステム	0			
株)クボタ	0			
株)シーエム・エンジニアリング			0	
株)大気社	0			
株)ティー・エス・ジー	Ö			
株)日本製鉄所	Ö			
株)ピーエス三菱			0	0
株)ヒダン	0	+		
	<u> </u>			
株)フジタ				0
株)マイスターエンジニアリング	0			
株) 増岡組			0	
株)メイテックフィルダーズ	0			
関西電力(株)		0	0	
亟東興和(株)			0	
広成建設(株)				0
五洋建設(株)			0	
三建設備工業(株)				0
シャープ(株)	0			
社会福祉法人かしの木				0
サスト は	0			
ショーボンド建設(株)			0	
ノニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ	0			
株)				
セイコーエプソン(株)		0		
ダイキンエアテクノ(株)				0
ダイキン工業(株)		0		
大成建設(株)			0	
日中貴金属(株)	0			
中外テクノス(株)	0			
中国電力(株)	-		0	
中国電力ネットワーク(株)		0		
中部電力パワーグリッド(株)		0		
電源開発(株)		0		
		+		
東亜建設工業(株)			0	
東海旅客鉄道(株)	0	0		0
東京ガス(株)	0			0
東京電力ホールディングス(株)			0	
-ヨタ自動車(株)	0			
5日本旅客鉄道(株)				0
5日本高速道路(株)				0
5日本高速道路エンジニアリング中国(株)			0	
R建設(株)				0
日亜化学工業株式会社	0			
コ <u>出化子工未休式云社</u> ファナック(株)	0	 	+	
フジテック(株)	0	-		
プライメタルズテクノロジーズジャパン(株)	0			
上斗電気工業(株)		0		
三菱地所コミュニティ(株)				0
寸田機械(株)		0		
ムラテックCCS(株)	0			
くタウォーター(株)	~		0	
ペタ・ノオーター(1/木)				

■本科卒業生 進学予定先一覧

進 学 先	機械工学科	電気情報工学科	環境都市工学科	建築学科
呉工業高等専門学校 専攻科	0	0	0	0
穴吹デザイン専門学校			0	
大阪大学		0		
大阪府立大学		0		
岡山大学	0			
香川大学				0
九州大学		0	0	0
九州工業大学		0		
熊本大学			0	
高知大学		0		
島根大学			0	0
信州大学	0			
千葉大学	0			0
東京農工大学		0		
豊橋技術科学大学	0	0		
トライデントコンピュータ専門学校				0
長岡技術科学大学			0	
広島情報ITクリエイター専門学校		0		
広島大学	0	0	0	
北海道大学			0	
横浜国立大学				0
代々木アニメーション学院		0		

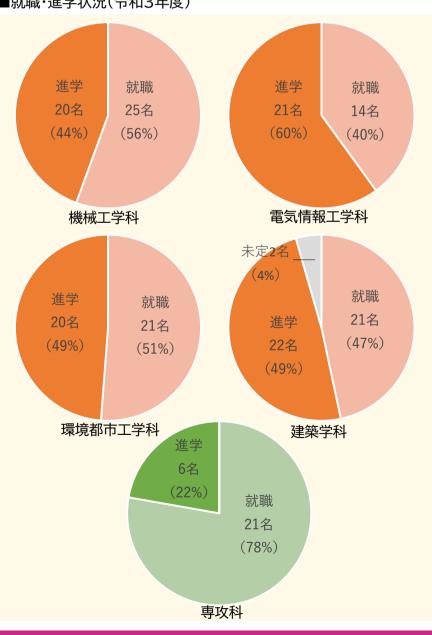
■専攻科修了生 就職予定先一覧

就 職 先
広島市役所
防衛省
ENEOS(株)
NECネッツエスアイ(株)
NTT東日本グループ会社
いであ(株)
(株)GSユアサ
(株)HIVEC
(株)IHIインフラシステム
(株)キャステム
(株)福山コンサルタント
(株)マツダE&T
川田建設(株)
グローブライド(株)
サムコ(株)
ダイキン工業(株)
田中電機工業(株)
中電技術コンサルタント(株)
日東電工(株)
マツダ(株)

■専攻科修了生 進学予定先一覧

学 校 名
九州工業大学大学院
九州大学大学院
信州大学大学院
千葉大学大学院
東北大学大学院
奈良先端科学技術大学院大学

■就職·進学状況(令和3年度)



-部活動の成果・受賞実績-

〇第57回中国地区高等専門学校体育大会(夏季大会)代替大会

(総合・団体)

種目 剣道 (男子) 準決勝進出(4位) バスケットボール 大島会場 1位 (男子) バスケットボール 初戦敗退 (女子) ソフトテニス 順位なし (男子) テニス (男子) 1位 卓球 (男子) 予選敗退 バレーボール 第2代表 (男子) ハンドボール Вパート 3位 サッカー Aパート 2位

ラグビー (**個人**)

種目・順位	所属・氏名
卓球	
男子シングルス ベスト16	A1 森口 幹太
水泳	
男子バタフライ100m 1位	C5 小田 悠人
男子バタフライ200m 1位	C5 小田 悠人
女子自由形50m 1位	C1 三浦 琴葉

赤字は全国大会出場

(個人)

種目・順位	所属・氏名
陸上競技(男子)	
100m 1位	M3 垣内 優真
〃 4位	M4 北恵 志童
200m 4位	M3 垣内 優真
〃 5位	M4 北恵 志童
400m 6位	A2 髙島 凜多朗
〃 8位	A1 花房 拓磨
1500m 5位	E1 宮原 寛弥
〃 6位	C1 秋田 隆之介
5000m 2位	A5 竹添 慧史
〃 5位	E2 砂田 拓也
3000mSC 3位	C1 阿良田 尊己
〃 4位	C5 国実 雅紀
4x100mR 3位	M4 北恵、E3 柴崎
4X100111K 3 M	M3 垣内、C3 永田
4x400mR 5位	E3 柴崎、M3 垣内
4x400111K 51 <u>1</u> 1	A2 髙島、M4 北恵
走幅跳び 8位	A1 阿地方 蓮
砲丸投げ 5位	M5 安井 翔哉
円盤投げ 2位	A3 福永 亮輔
やり投げ 5位	A3 福永 亮輔

種目・順位	所属・氏名	
陸上競技(女子)		
100m 3位	C3 福嶋 梨乃	
200m 2位	C3 福嶋 梨乃	
800m 5位	A2 瀧本 菜々子	
4x100mR 4位	A1 中村、C3 福嶋	
4X100IIIK 4 <u>1</u> 11	A2 森川、A2 瀧本	
走高跳び 1位	A2 森川 愛生	
〃 3位	A2 瀧本 菜々子	
走幅跳び 3位	A2 森川 愛生	
ソフトテニス(男子)		
個人戦 2位(抽選)	C5 金川、C5 濱田	
個人戦 ベスト8	C3 松岡、E3 池田	
個人戦 ベスト8	C3 小林、A3 加藤	
個人戦 ベスト16	C2 宇川、A2 上江洲	
個人戦 ベスト16	C1 山根、E1 堂脇	
ソフトテニス (女子)		
個人戦 1位 (抽選)	A1 岩﨑、A1 松岡	
個人戦 ベスト8	A1 岩﨑、A1 松岡	
テニス(男子)		
シングルス (過去実績より選抜)	C5 小村 亮世	
ダブルス (過去実績より選抜)	C5 小村、M4 福垣内	

○全国高等専門学校体育大会中国地区代表決定戦

Aパート 初戦敗退

(団体)

(国件)	
種目	順位
バトミントン (男子)	順位なし
バトミントン (女子)	3位
硬式野球	2位
柔道	3位

(個人)

種目・順位	所属・氏名
バトミントン	
シングルス、 ダブルス(男子)	初戦敗退
シングルス、 ダブルス(女子)	2回戦敗退

種目・順位	所属・氏名
柔道(男子)	
個人戦81kg級 1位	E5 トゥーギー
個人戦無差別 1位	E5 和田 一輝

〇第56回全国高等専門学校体育大会 (団体) (個人

種目	順位
テニス (男子)	準優勝
バスケットボール (男子)	2回戦敗退
バレーボール (男子)	初戦敗退

種目・順位	所属・氏名			
陸上競技(男子)				
100m 予選敗退	M3 垣内 優真			
〃 予選敗退	M4 北恵 志童			
5000m 6位	A5 竹添 慧史			
円盤投げ 7位	A3 福永 亮輔			
陸上競技(女子)				
200m 8位	C3 福嶋 梨乃			
走高跳び 3位	A2 森川 愛生			
〃 記録なし	A2 瀧本 菜々子			
テニス(男子)				
シングルス 3位 (ベスト4)	C5 小村 亮世			

種目・順位	所属・氏名					
ソフトテニス						
男子個人戦 2回戦敗退	C5	金川、	C5	濱田		
女子個人戦 準々決勝敗退 (ベスト16)	A1	岩﨑、	A1	松岡		
水泳						
男子100mバタフライ 3位	C5	小田	悠人			
男子200mバタフライ 2位	C5	小田	悠人			
女子50m自由形 2位	C1	三浦	琴葉			
柔道(男子)						
個人戦81kg級 初戦敗退	E5	トゥー	ギー			
個人戦無差別 2回戦敗退	E5	和田	一輝			

デザコン 2021 in 呉を開催しました



12 月 4 日に、全国高等専門学校連合会主催のもと、第 18 回全国高等専門学校デザインコンペティション(デザコン 2021in 呉)が呉高専を会場として開催されました。

4 部門 (構造デザイン部門、空間デザイン部門、創造デザイン部門、AM デザイン部門)、ならびに、プレデザコン部門の計5つそれぞれの分野にわかれ、高専生による競技が繰り広げられました。

新型コロナウイルス感染拡大防止による入場制限が一部ありましたが、参加した高専生らの熱量もあって、盛大のうちに閉会できました。

大過なく閉会まで至ったことについては主催者である全国高専連 合会の皆様および協力学生など、数多くの方々のご支援があってこ そです。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

来年は有明高専(福岡県大牟田市)において第 19 回全国高専デザコンが開催される予定となっております。

(デザコン 2021in 呉 実行委員会)



会場 (呉高専)



構造デザイン部門



___ 空間デザイン部門



創造デザイン部門



AM デザイン部門



プレデザコン部門

呉高専だより 81号 2022年3月

編集·発行 呉工業高等専門学校 広報室 〒737-8506 呉市阿賀南 2 丁目 2-11 TEL:0823-73-8200 Mail:kouhou@kure-nct.ac.jp

